

# 令和8年度 葉山町議会 9月定例会議 一般質問プレゼンテーション資料

2026.10/08 (THU)

## 1. 学校教育現場の環境整備について

- A) 学校再整備について
- B) 非喫食児童への「学校給食費給付制度」導入について

## 2. 住み続けたい町にするための施策について

- A) まちづくり条例の今後について
- B) 子育て支援の充実について
- C) 災害に強いまちづくりについて(豪雨・大雨災害)

## 2. 住み続けたい町にするための施策について

- A) 機構改革に合わせた「ポータルサイト」の検討について  
(子どもまん中の町としての施策)

Presenter : Jissei Ishioka

# 未来へつなぐ、 葉山のまちづくり。

海と緑に抱かれた、このまちの豊かな暮らしを  
次の世代へ。

## まちづくり条例の今後



## 子どもまん中のまちづくり



## 災害(豪雨・大雨)に強いまちへ



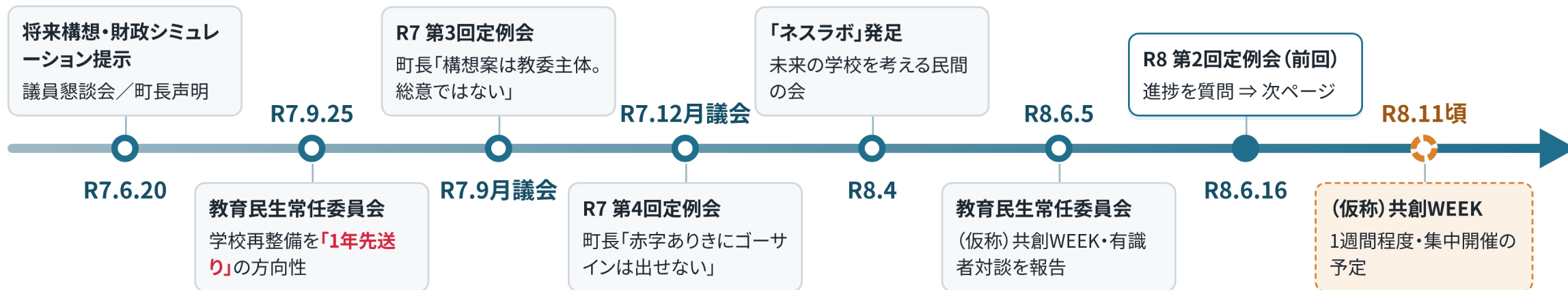
AI Photo

# 学校教育現場の環境整備について

※R7年(2025年)第3回定例会 一般質問で使用了たプレゼン資料

## 学校再整備について

### これまでのリマインド



### 1年先送りの期間

R7.9.25 先送り表明

1年が経過し、**R9年度予算編成の時期に**

今ここ▶

当初言われた総事業費

**190～200**億円

物価高・国際情勢で「絵に描いた餅」の懸念(町長・R8.6)

国費で賄える見込み(教委・R7.12)

**約39**億円

国庫補助 約30億 + 交付税措置 約9億 = 全体の約2割

財政的に耐え得る目安(独自調査)

**40～60**億円程度?!

一般会計 約130億円規模の町として(R7 第3回定例会資料)

# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

前回（R8.6.16）の答弁 — それぞれの進捗

### 教育委員会 教育部長 答弁

#### 合意形成

「**合意の納得度**」を上げることに注力。  
（仮称）共創WEEK・有識者との対談を積極的に推進  
6/26 教育長×葉山子どものための人材バンク 座談会（予定）

#### 建設面

仮設校舎の**2パターンを比較・再検討中**（業務委託）

##### A 案

葉山小の校舎を残して建設

##### B 案（当初構想）

一色小の敷地に仮設校舎

学校側の声：児童倍増への不安・引越し複数回の負担・騒音や振動

#### 施設規模

グラウンド 6,758㎡ / 体育館 1,376㎡ + ホール 532㎡  
グラウンドは基準を下回る ⇒ 葉山中の施設活用など工夫

### 合意形成の納得度を高める取組

“これからは**“合意の納得度”**に力を入れたい”



行政がつくる枠の中だけでなく、様々なスタイルで町民と協力しながら、合意形成の納得度を高める方法を検討。

#### 案A

葉山小学校の校舎を残しながら整備



- 既存の校舎を活用しながら、段階的に整備を進める案
- 現在の通学エリアを維持できるメリットがある

#### 案B

一色小学校敷地に仮設校舎を建てて整備



- 一色小学校の敷地に仮設校舎を建て、新しい校舎の整備を進める案
- 工事中の教育環境への影響を抑えられる可能性がある

### 前回の要望

教育委員会と町部局が、**立場を超えて協議し、早目に足並みを揃えて進めていただきたい。**  
共創WEEKには「ネスラボ」など**民間団体の力**も有効に活用してほしい!!

# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

前回（R8.6.16）の答弁 — それぞれの進捗

### 町長部局 町長 答弁

- |      |                                                                           |
|------|---------------------------------------------------------------------------|
| 取り組み | 教育委員会と歩調を合わせ、懇談の場を設けていく                                                   |
| 財源   | 最大の課題は「金策」。研究を重ねているが「これだという決め手に欠ける」のが正直なところ<br>既存資産の活用（FM）より、まず「真水の原資」を研究 |
| 今後   | 1年の中で一定の方向性を知らせたい<br>「中間報告か最終結論か分からないが、報告はしていきたい」                         |



#### 不確実性

物価高や国際情勢の変化により、当初想定していた事業費そのものがさらに不透明になっている。

### 1 基本姿勢

- 教育委員会と歩調を合わせて進める
- 教育長とともに、懇談の場づくりも進める



### 2 最大の課題は財源確保

#### 今、最大の課題は“金策”

- 財政面は引き続き研究中
- 現時点では“これだ”という決め手はまだない
- まずは真水の原資として確保できるものを探る



### 3 既存資産の活用に関する考え方

- 校舎など現有資産の今後は議論すべきテーマ
- 売却や活用の可能性も会話レベルではある
- ただし、見込みを前提にした計画段階には至っていない



#### 前回の 要望

合意形成にこだわり、**中間報告等をしっかり**いただきながら、議会も一緒に考えたい。  
**時限に拘らず**、慎重に意義のある時間にしてほしい!!

# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

### 現在の進捗度の確認

#### Q1 前回以降、それぞれの進捗状況は？

##### 教育委員会

- ▶ 仮設校舎2パターンの比較検討の結果
- ▶ 座談会・有識者対談で得られた声
- ▶ （仮称）共創WEEKの開催・準備状況

##### 町長部局

- ▶ 財源確保（金策）の研究の成果
- ▶ 既存資産の活用を含む全体の検討
- ▶ 教育委員会との協議の状況

#### Q2 「一定の方向性」は、いつ・どのように示されるのか？

中間報告か最終結論か — R9年度予算への反映は？ 議会・町民への報告のスケジュールは？

#### Q3 改めて、それぞれの「想い」と「考え」は？

この1年を経て、子どもたちのための学校づくりにどう向き合うのか。  
教育委員会・町長、それぞれの言葉で伺いたい。

「1年先送り」の表明から1年が経過。  
前回答弁の“その後”はどうなったのか？

参 考 資 料 1  
教育民生常任委員会  
教 育 総 務 課  
令和8年9月28日

### 学校再整備に向けた検討状況の報告

- ▶ 取組の全体像
- ▶ 有識者等と、町長・教育長の対談
- ▶ 工事工程の再検討結果
- ▶ はやま楽校プロジェクトの概要  
(令和8年6月5日参考資料では（仮称）共創WEEK～「ハ・ラ・ジョ」の整備に向けて）

葉山町教育委員会  
Board of education

##### 楽校の可能性を考える取組

###### 取組①

##### 有識者等との対談

「財源の確保や地域社会への波及効果など、多面的な視点から議論をさらに深める」ための対談

##### 構想の妥当性を検証する取組

###### 取組②

##### 工事工程の再検討

葉山小学校の校舎を残しながら新校舎を建築する案と、一色小学校に仮設校舎を建てて新校舎を建築する案の再比較

##### 楽校の可能性を感じる取組

###### 取組③

##### はやま楽校プロジェクト

葉山町学校整備基本構想の4つのコンセプトのうち、町民の皆さんに十分伝えられていない「あつまる（開く）」を既存の学校で実践し、地域のコミュニティ（拠点）としての可能性を可視化・共有する

##### 教育委員会は…

基本構想・基本計画の路線は維持しつつ、「納得度」はどこまで高まったのか？

##### 町長は…

将来世代への投資として、財政への責任。その両立への道筋は見えて来たか？



# 学校教育現場の環境整備について

## 非喫食児童への「学校給食費給付制度」導入について

### 前回質問のリマインドと今回の確認ポイント

#### 1 前回のリマインド

令和8年4月～

- 葉山町立小・中学校で給食費の負担軽減が開始
- 小学生 月額 4,400円 → 0円
- 中学生 月額 5,600円 → 0円 (当年度措置)



#### 2 前回の問題提起

- 給食を利用できる児童は公費負担の対象
- 一方で、アレルギー・宗教・不登校等により給食を利用できない児童は自己負担
- 同じ葉山町の子どもでも、支援の届き方に差



#### 3 前回一般質問で要望

- 非喫食者への支援制度導入を検討してほしい
- 不公平感の解消に向けて、教育委員会として協議を進めてほしい



### 前回答弁の要点

#### 1 議論があることは承知している

非喫食児童への支援については、様々なご意見や議論があることを承知している。



#### 2 近隣自治体も対応に苦慮している

本町だけでなく、近隣自治体においても、同様の課題について対応に苦慮している状況である。



#### 3 試算の考え方は概ね資料のとおり

ご提示いただいた試算の考え方については、概ね資料のとおりと認識している。



#### 4 継続的な補助は慎重な検討が必要

財政面への影響も踏まえ、継続的な補助の実施については、慎重に検討する必要があると考えている。



前回の  
要望

給食費の負担軽減は「子育て支援」。学校以外で学ぶ子どもも等しく支える視点を。  
非喫食児童への支援策の協議を進め、ぜひ「葉山モデル」の構築を!!

# 学校教育現場の環境整備について

## 非喫食児童への「学校給食費給付制度」導入について

### 委員会採択と葉山町の現状

国の動き

給食費負担軽減交付金実施要領（R8.5.29 一部改正）

非喫食者支援の「やむを得ない事情」として「重度のアレルギーその他の疾患、**不登校**、宗教上の配慮が必要である場合等」

⇒ 金銭給付・現物給付に**交付金を充当できる**（上限あり）

### 委員会採択と葉山町の現状

## 教育民生常任委員会で 全会一致採択



### 陳情第 8-20 号

学校給食費の負担軽減に伴う  
非喫食児童への支援制度の創設を求める陳情



### 1 学校教育課の説明

現在、給食を利用していない児童の状況  
(葉山町立小中学校)

宗教・アレルギー  
が理由  
**2名**



不登校  
**27名**



計  
**29名**

※概数では  
約30名として試算

### 2 概算試算

給食費相当分を給付(返還)した場合の概算

30人

×

5,200円

×

11か月

= 約**171.6**万円

### 3 県内動向

委員会説明では、神奈川県内で同様の趣旨の  
制度を設けている自治体が**7市町村**あるとの説明。



### Q1 陳情の全員賛成での採択と、国の実施要領の改正を受けて、教育委員会の認識は？

⇒ 前回答弁の「継続的な補助は慎重な対応・検討が必要」から、考え方に変化はあるか？

# 学校教育現場の環境整備について

## 非喫食児童への「学校給食費給付制度」導入について

### 1 県内の主な実施自治体（公表資料で確認）

| 自治体  | 主な対象                        | 算定方法                   | 特徴・要件                    |
|------|-----------------------------|------------------------|--------------------------|
| 川崎市  | 重度アレルギー・疾病・不登校・宗教           | 月額 5,200円（全停止）         | 4か月以上連続の停止が要件<br>／R8.9開始 |
| 相模原市 | アレルギー・宗教・5日以上連続の欠席（入院・不登校等） | 1食 330円×回数（月上限 5,500円） | 事前の給食停止届が必要              |
| 厚木市  | アレルギー等やむを得ない事情、私立の通学者       | 学校給食費相当額               | 小・中学校が対象                 |
| 横浜市  | 給食を全く食べられない方                | 一定額を補助                 | R8年度実施予定／学校を通じて案内        |
| 秦野市  | 小学校の非喫食者                    | 国の基準額が上限               | R8年度実施予定                 |

近隣では… 逗子市で、不登校家庭への支援を求める8団体が要望書を提出（2026.9.2）

基準は多岐に… 「年間94日以上に登校」を要件とする政令市も（文科省は「想定外の運用」）

### 2 全国の状況

神奈川県

7 / 33市町村

委員会説明（約21%）

宮城県

13 / 35市町村

河北新報の調査（約37%）

実施自治体で「不登校」を対象に含むか



■ 不登校も含む 10自治体

■ アレルギー・宗教等のみ 16自治体

### 3 読み取れること

- 1 導入自治体は増え、県内でも制度化が進みつつある
- 2 一方で、対象範囲や算定方法は自治体ごとに大きく異なる
- 3 導入の可否だけでなく、制度設計の丁寧さが重要

### 4 改めて導入が必要だと考える理由

1



無償化の恩恵が  
届かない子どもを  
生まないため

2



不登校や多様な学びの  
状況にも配慮するため

3



宗教・アレルギー等により  
給食を利用できない  
家庭の負担に応えるため

4



葉山町でも現実的な  
財政規模から  
検討し得るため

➡ まずは導入そのものの検討を始め、あわせて葉山町に見合った制度設計を整理していただきたい。

※「26自治体」は各自治体HP・報道・民間の補助金情報サイトで対象要件を確認できた自治体（2026年7～10月時点）出典：各市HP、秦野市政策会議資料（R8.2.2）、タウンニュース（2026.10.3／9.11）、河北新報（2026.8.10）、All About



# 学校教育現場の環境整備について

## 非喫食児童への「学校給食費給付制度」導入について

### 1 まずは導入そのものの検討を

#### 1 対象者をどう捉えるか

- 宗教・食物アレルギー
- 不登校・長期欠席
- 学校外の学びの場の扱い



#### 2 予算規模をどう見るか

- 現時点の概算は約 **171.6万円**
- 人数変動を見込んだ幅も確認
- 継続財源の考え方を整理



#### 3 実施方法をどうするか

- 現金給付か、返還方式か
- 年1回・年2回など支給時期
- 他制度との重複整理



### 2 葉山に見合ったスキームづくり

#### A 対象要件

- 事前の給食停止届
- 理由の確認方法
- 一部喫食時の扱い



#### B 算定方法

- 月額 **5,200円**方式
- 1食単価×回数方式
- どちらが葉山に適するか

月額  
5,200円方式?

1食単価×  
回数方式?



#### C 申請・確認

- 学校と教育委員会の確認フロー
- 保護者負担を重くしない手続



保護者  
(申請)



学校  
(確認)



教育委員会  
(審査・決定)

#### D 公平性の整理

- 就学援助等との関係
- 対象外となるケースの明確化



### Q2 非喫食児童への給付制度について、導入の検討を進める考えは？

- 1 導入の必要性について、  
正式な検討に着手してほしい

- 2 他自治体調査を踏まえ、  
葉山版の制度案を  
整理してほしい

- 3 来年度予算編成も見据え、  
一定の方向性を  
示してほしい

非喫食者の取扱いは自治体判断。  
だからこそ、葉山としての  
整理が必要。

- ☑ 検討開始
- ☑ 制度案の整理
- ☑ 次年度予算へ

# 住み続けたい町にするための施策について

## まちづくり条例の今後について

### ①町が抱える現状の課題

 京急マンション

住民紛争

 トゥモローランドホテル

住民紛争

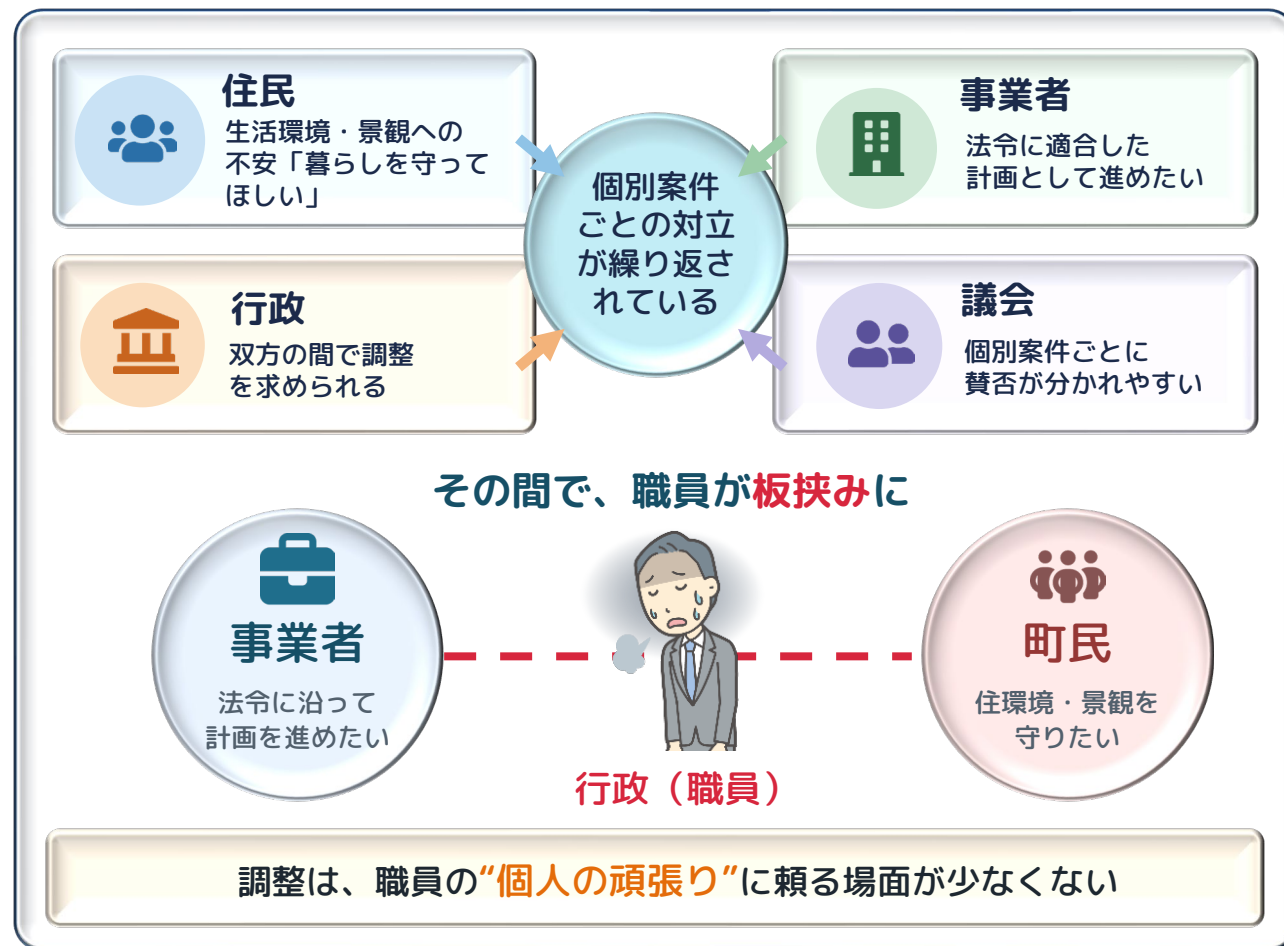
 サンピアマンション

住民紛争

 議会へ陳情が相次ぐ

 法令適合でも  
議会の賛否が割れる

 事業者側から訴訟も



⚠ 紛争のたびに**場当たりの対応**になっていないか —— 「今の仕組み」を問い直す時期では？

# 住み続けたい町にするための施策について

## まちづくり条例の今後について

### ②問題意識 - これまでの経緯

施政方針から約半年



神奈川新聞 2023.6.8

「止める／進める」の  
二択の議論になっていないか

見直しが必要かどうかの  
判断材料が共有されていない

振り返りの過程に  
議会・町民が関わっていない

現行条例に  
既にある  
主な仕組み

事前協議

住民への周知

縦覧

意見提出

説明

開発基準

景観・緑地などへの配慮

“制度がない”のではない

💡 問うべきは「厳しくするか否か」ではなく、誰もが納得できるプロセスがあるか？

# 住み続けたい町にするための施策について

## まちづくり条例の今後について

### ③石岡の想い



## “対立のまち”から“対話のまち”へ

誰かの頑張りや、その場の多数決に頼らない。みんなが納得できる“ルール”で、葉山の未来を描きたい。



### 町民の想いを 受け止める

住環境や景観を大切にする  
声を、早い段階から聴く



### 法令と事業者の 権利を尊重する

法令に適合した計画には  
ルールに沿った公正な判断を



### 職員を “根性論”から守る

個人の頑張りではなく  
仕組みで調整できるように



### 議員も自ら 調べ“示す”

批判だけでなく  
たたき台を持って議論する



守るべきものは守る。  
一方で、**行政裁量や事業者負担を必要以上に増やさない。**



条例・施行規則・運用・情報公開。  
それぞれの役割を整理して考える。

# 住み続けたい町にするための施策について

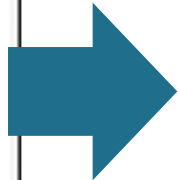
## まちづくり条例の今後について

### ④目指す姿



いま

- × 紛争が起きてから対応
- × 法令適合でも賛否が割れる
- × 調整は職員の個人努力頼み
- × 議会・町民は結果を知るだけ



### 目指す姿 —— 納得できるプロセスのあるまち

- ✓ 計画の早い段階から対話
- ✓ 判断の“物差し”が共有されている
- ✓ ルールに基づき職員が調整
- ✓ 見直しの過程に議会・町民も参加

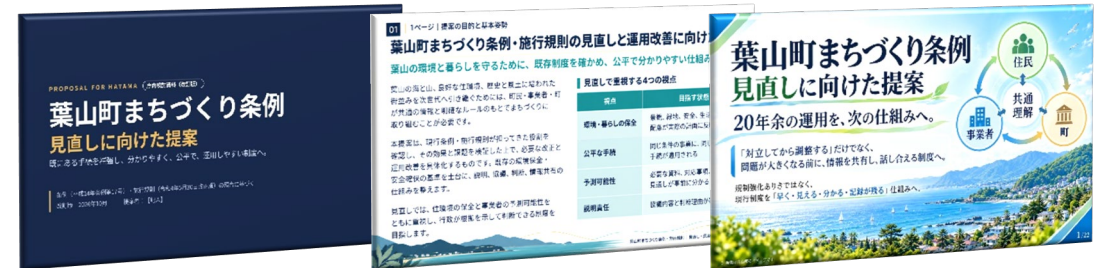


住民の安心を守りながら、事業者にとっても行政にとっても「何をすればよいか」が分かる制度へ。

# 住み続けたい町にするための施策について

## まちづくり条例の今後について

### ⑤ロードマップと提案



いまここ

#### STEP 1

現行条例の  
振り返り

町

#### STEP 2

合同勉強会

町 × 議会

#### STEP 3

町民との  
意見交換

町民・事業者

#### STEP 4

見直しの要否・  
方向性の整理

町 × 議会

#### STEP 5

必要に応じて  
条例・規則の改正

議会で審議

## 勉強会の“たたき台”として、検討資料を作成しました!!

資料



庁内検討用

条例・規則の論点整理

資料



議会用

見直しの選択肢と比較

資料



町民との  
意見交換用

わかりやすい説明と問い

振り返りの“いま”こそ、  
一緒に考えたい!!

町と議会が、それぞれの立場から材料を持ち寄り、  
これからの葉山のまちづくりを一緒に考えていきたい。



提案

これらの資料を勉強会のたたき台として活用し、町・議会・町民で一緒に考えていきませんか？

# 住み続けたい町にするための施策について

## 子育て支援の充実について

これまでの歩み(リマインド)

声を届け、提案を重ねてきた  
『子どもの居場所』と『子育て拠点』



R7.9 一般質問



提案・要望

児童館を、学校に行けない子の居場所に

町の答弁・動き

学びと連動する形の取組の可能性はある（福祉部長）

R8.3 陳情・予算委員会



提案・要望

長柄地区に子育て拠点を（560名の署名）

町の答弁・動き

「こども計画」通り、検討を進める（町長）

R8.6 一般質問



提案・要望

長柄の子育て拠点の進捗は？

町の答弁・動き

令和9年4月には何とかスタートさせたい（福祉部長）

R8.9.28 教育民生常任委員会



報告

子ども育成課より報告

町の答弁・動き

新規拠点3か所・令和9年4月の事業開始を予定

「葉山町こども計画」では  
**令和11年度**までに  
長柄地区に新規開設を目指す



今回の報告では

**令和9年4月** 開設予定  
長柄・堀内・上山口の**3か所**に拡大

大幅前倒し!!

加速度を増した  
検討に、感謝!!



# 住み続けたい町にするための施策について

## 子育て支援の充実について

委員会報告（R8.9.28）をわかりやすく

### 「地域子育て支援拠点」ってなに？

乳幼児とその保護者が気軽に集える場所です



親子の交流



子育て相談

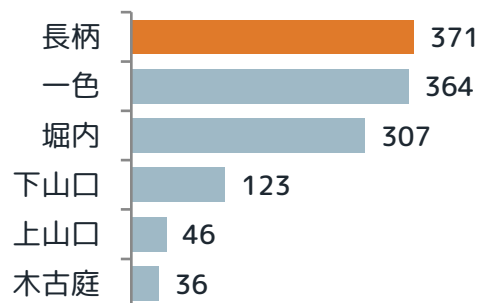


地域の情報



講座の開催

### なぜ長柄から？ 地区別の未就学児数（R6.1.10時点）



町内最多

371人

アンケートでは「ぽけっとは遠い」「駐車場が少ない」の声が多数

## 『検討』から『具体化』へ

子ども育成課の報告により、新規拠点の姿がかなり見えてきた



令和9年4月、子育てひろばが**3か所**増える予定です

最優先

📍 長柄地区

一般型 週5日

候補施設  
葉山にここ保育園

📍 堀内地区

連携型 週3～4日

候補施設  
葉山ぎんのすず保育園

📍 上山口地区

連携型 週3～4日

候補施設  
風の子保育園



現在の拠点「ぽけっと」（一般型・週5日）と合わせて、町内4か所の体制へ

実施方法：民設民営（今ある認可保育所の場所を活用し、町の補助事業として実施）

費用の目安：3か所で約1,331万円（うち町負担 約444万円）※R7年度交付金基準額

R8.10～12  
R9予算計上

R8.11  
事業者募集

R8.12  
事業者決定

R9.3  
周知・広報

R9.4  
事業開始

**Q1** 大きく前進した検討に感謝。事業者募集に向けた進捗と、令和9年4月の開設に向けた決意は？

# 住み続けたい町にするための施策について

## 子育て支援の充実について

今後への要望 —— 拠点と児童館の機能を高める



大切なのは『場所を増やすこと』だけではない  
子育て支援拠点と児童館をつなぎ、町全体で『子どもの居場所』を充実させる



### 子育て支援拠点 0歳～就学前の子と保護者

 3か所の着実な開設と、質の確保  
民設民営でも、町が運営の質に関わる仕組みを

 「ぽけっと」を含む4か所の連携  
情報共有や相談の引き継ぎなど、ネットワーク化を

 通いやすさへの配慮  
駐車場やアクセスなど、利用しない理由の解消を

 わかりやすい周知と利用の検証  
開設後の利用状況を確認し、改善につなげる

### 児童館 18歳まで誰でも使える町内7施設

委員会報告でも「児童館のニーズが変わってきている」と指摘

▼ 午前の乳幼児向け「遊びの広場」は参加者が減少

▲ 学校に行けない子の「居場所」を求める声

 学校に行けない子の日中の居場所に  
公的な居場所として位置づけ、安心して通えるように

 学びにつながる“きっかけの場”に  
教育委員会と連携し、学びとつながる仕組みを

 福祉部と教育委員会の検討の場を  
拠点との役割分担も含め、児童館の在り方を見直す



Q2 新たな拠点の開設を機に、**児童館の機能の見直し**について、  
福祉部と教育委員会が連携した検討を進める考えは？ —— **0歳から18歳まで、切れ目のない居場所を!!**

# 住み続けたい町にするための施策について

## 災害に強いまちづくりについて(豪雨・大雨災害)

R8年6月定例会議でのリマインド

### 行政依存型防災から、**自助・共助型防災**へ

葉山町の防災は「避難所へ行く防災」だけでは成立しない



町の人口

約32,000人



屋内の指定避難所  
収容人数

7,145人



収容できる割合

約22%



収容できない人

約25,000人

※前回資料より（指定避難所は屋内施設のみ）

最後に命を守るのは、**一人ひとりの判断と行動**

### 前回の答弁（総務部長）

阪神・淡路大震災の経験から言われる割合

自助 7

共助 2

公助 1



「避難所はホテルじゃない」  
自宅で避難できれば、それが一番



防災読本・ハザードマップを全戸配布  
転入者にも配布している



家族で話し合ってほしい  
わが家は浸水・土砂災害のエリアかを確認



そんな矢先に……

**台風25号**（令和8年9月）の記録的な大雨が三浦半島を襲った。



# 住み続けたい町にするための施策について

## 災害に強いまちづくりについて(豪雨・大雨災害)

台風25号 — 近隣で何が起きたか？

365.5 mm

三浦市の48時間雨量  
観測史上1位

451.5 mm

横須賀市（野比）の連続雨量  
「七夕豪雨」を上回る

5人

死亡（横須賀市・三浦市の4か所）  
いずれも崖崩れ

135 / 117 件

土砂崩れ（横須賀市 / 三浦市）  
9月24日時点

葉山町

甚大な人的被害は回避

山からの出水・土砂は“紙一重”



死亡 0人



県集計では軽傷 1人



## 見えてきた3つの教訓



4か所すべてが  
「レッドゾーン」

亡くなった方が出た4か所は、  
すべて急傾斜地の土砂災害  
特別警戒区域だった。



⇒ 危険は事前にわかっていた。



擁壁の“上”から  
崩れた

三浦市初声町和田では、  
斜面の途中まで擁壁があったが、  
その上部から土砂が崩落。



⇒ 擁壁があるから安全、ではない。



避難指示は  
出ていた

横須賀・三浦の両市は、  
レベル4「避難指示」を  
発令していた。



⇒ 情報が「行動」につながらない

※神奈川県の土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)は約8,900か所。出典:神奈川新聞(2026.10.4)、タウンニュース(2026.9.25)／※写真:カナロコ9/24.25 横須賀長井2丁目／三浦市初声町和田

問われているのは「区域指定の有無」ではなく、危険な場所に住む人を、実際の避難行動にどう結びつけるか？

# 住み続けたい町にするための施策について

## 災害に強いまちづくりについて(豪雨・大雨災害)

葉山町も決して他人事ではない!!

 町の面積の約7割が土砂災害警戒区域

土砂災害（特別）警戒区域内の建物

約 **7,000** 棟

| 急傾斜地          | 土石流          | 地すべり         |
|---------------|--------------|--------------|
| <b>136</b> 区域 | <b>65</b> 区域 | <b>13</b> 区域 |

 消防団員として、当日の現場で

 16年目で、最も雨量の多かった台風

 裏山から大量の出水が流れ出す光景は恐怖

 **土砂災害が起きるか否かは「紙一重」**

## 確認したいこと

### Q1 台風25号のとき、葉山町はどう動いたか？

- ・雨量の状況、避難情報（警戒レベル）の発令、避難所の開設と避難者数
- ・土砂崩れ・道路などの被害件数と、町民からの通報への対応



### Q2 町内の「レッドゾーン」に、何世帯・何人が住んでいるか？

- ・区域内の世帯数・人数、要配慮者（高齢者・障がいのある方など）の把握と個別避難計画

### Q3 国（国交省）の現地調査の結果を、町の対策にどう活かすか？



国土交通省 TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊） 9/27～10/1・計37名を派遣

**斜面調査** 4班26名で、横須賀・三浦の被災斜面を調査（9/29：10か所、9/30：26か所）

**道路調査** 三浦市と葉山町の被災した道路3か所を調査（9/30）

**県との連携** リエゾン3名を県の土木事務所に配置

- ・調査で分かった崩壊の原因や二次災害の危険性は、町に共有されているか
- ・葉山町内の被災道路の状況と復旧の見通し、町内の似た斜面の点検に活かす考えは

# 住み続けたい町にするための施策について

## 災害に強いまちづくりについて(豪雨・大雨災害)

大雨のときの避難は「住んでいる場所」で変わる!!



レッドゾーン世帯への個別の周知  
年1回の通知や、前回提案の税通知同封・LINE活用



大雨時の早期の自主避難所の開設  
「雨が強まる前に」動ける場所と、確実な発信



公助としてやれることも  
並行作業で進めて!!



### レッドゾーン・崖の近く

土砂災害特別警戒区域

#### 早めの立退き避難

建物ごと被害を受けるおそれ。  
2階への避難では命を  
守れない場合がある



🕒 明るいうちに・雨が強まる前に



### イエローゾーン

土砂災害警戒区域

#### 早めの避難が基本

間に合わないときは、  
崖から離れた部屋、  
2階へ（緊急安全確保）



🕒 レベル3で高齢者等は避難



### 区域外・浸水想定区域

河川・低地など

#### 状況に応じて在宅・垂直避難

浸水の深さや建物の状況  
によっては、自宅の上階  
での安全確保も選択肢



🕒 ハザードマップで事前に確認

※内閣府「避難情報に関するガイドライン」の考え方をもとに整理。避難のタイミングや方法は、住まいの状況により異なります。

#### Q4 垂直避難でよい所と、早めの避難が必要な所を、地区ごとに示してはどうか？

⇒ 特にレッドゾーンに住む方へ、「いつ・どこへ」逃げるかを個別に働きかける仕組みづくりを

この作業は結構大切な  
ような気がします!!



# 住み続けたい町にするための施策について

## 地域防災力の強化について

〔お金を掛けずに実現できる防災情報のアウトプット案〕

### 葉山町の防災情報を、もっと届く、もっと分かりやすく。

一人ひとりに最適な情報を、最適な方法で届ける4つの仕組み

#### ① LINEで実現する

町公式LINEで、あなたに必要な情報を自動配信

登録すると  
あなたの地域に  
必要な情報だけを  
自動でお届け！

あなたのお住まいは？

- ☐ 一色
- ☐ 堀内
- ☒ 長柄
- ☐ 下山口
- ☐ 上山口

家族構成は？

- ☐ 単身
- ☐ 高齢者世帯
- ☒ 子育て世帯

登録すると  
あなたの地域に  
必要な情報だけを  
自動でお届け！

長柄地区  
土砂災害注意

森戸地区  
津波避難優先



経代ゼロ



郵送料ゼロ



更新も簡単

#### ② ハザードマップにQRコード

ハザードマップを「読まれる」きっかけに

葉山町ハザードマップ  
避難所マップ

長柄地区の方はこちら  
↓  
長柄専用ページ

堀内地区の方はこちら  
↓  
堀内専用ページ

一色地区の方はこちら  
↓  
一色専用ページ

地区ごとの専用ページで、  
避難所・危険箇所・避難ルート・備えのポイントを確認！  
スマホで簡単アクセス！



#### ③ 固定資産税・住民税通知書と同封

毎年必ず届く通知に、防災情報をプラス

重要

固定資産税  
通知書

住民税  
通知書

あなたの地区の防災情報

あなたの地区：長柄

- 避難所  
長柄小学校  
(徒歩7分)
- 土砂災害警戒区域  
該当  
(がけ地付近にお住まいです)
- 備蓄の目安  
7日分  
(家族構成に応じた目安です)



A4一枚を同封するだけ！  
追加コストほぼゼロで、確実に届く！

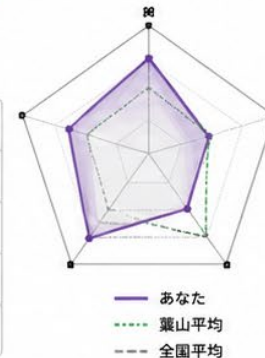
#### ④ 葉山らしい「防災偏差値」

あなたの備えを、楽しく見える化

あなたの防災偏差値

42

|      |   |
|------|---|
| 備蓄   | △ |
| トイレ  | × |
| 安否確認 | △ |
| 避難計画 | ○ |
| 情報収集 | △ |



全国平均・葉山平均と比較できるから、  
改善ポイントがひと目でわかる！  
家族で話し合うきっかけにも！

#### 4つの仕組みの ポイント



一人ひとりに  
最適な情報を届ける



地区ごとのリスクや  
避難情報がすぐわかる



コストをかけずに  
効果的に情報発信



防災意識を高め、  
「自分ごと化」を促す

葉山らしいやさしい防災で、  
安心して暮らせるまちへ。



# 町の情報ツールの強化について

## 機構改革に合わせた「ポータルサイト」の検討について

これまでの歩み(リマインド)

H30～R7 情報発信に関する提案 計25回

HPの改善・リニューアル

7回

魅力・事業のPR

6回

その他の情報発信

12回

R6～R7 子どもまん中の機構改革を提案

町長の答弁

「従来の縦割り行政から、横のつながりをしっかり持てる形を目指す中に、子どもをテーマにその先進性を目標とする。任期中に何とか実現させたい」

R8.6 前回：「制度を探す町」から「安心して相談できる町」へ

町長の答弁

機構改革の大きな柱の一つは「AIやDXに適応した役所」。  
町民の困り事を解決する視点に強化したい。大切な提案に感謝する。

## 前回（R8.6）提案した、情報を“届ける”仕組み

① 情報デザイン室

② 町公式LINEの高度化

③ 町民の声を“見える化”

④ 60秒ショート動画

HPトップのイメージ

孤立を防ぐ行政へ

そして、令和9年4月――

機構改革を機に、まずは「子ども・教育」の分野から具体化を。



# 町の情報ツールの強化について

## 機構改革に合わせた「ポータルサイト」の検討について

令和9年4月の機構改革で、何が変わる？

### 教育委員会の組織（教育部）

#### 現行（令和8年4月）

##### 教育総務課

- ・ 庶務係
- ・ 施設係

##### 学校教育課

- ・ 学務係
- ・ 指導係
- ・ **教育研究所**

##### 生涯学習課

- ・ 生涯学習係・ 青少年係・ スポーツ係



#### 新体制（令和9年4月・案）

##### （新）学校教育課

- ・ 教育総務係
- ・ 教職員係
- ・ 研究支援係

##### 生涯学習課

- ・ 社会教育係・ スポーツ係

教育研究所は廃止し、研究支援係へ  
「発展的統合」（所掌事務を移行）

### 組織図には表れない、大きな一歩

“

子ども育成課と教育部の連絡調整会議（仮称）を設置し、  
子ども育成課の数年後の将来的な教育部への移管  
に向けて情報共有・協議を進めます。

機構改革資料「2-8 幼保小の連携・子どもの権利に関する取組み強化」より

待ち望んだ

**「子ども未来部」**への  
第一歩!!



Q1

教育研究所の“相談機能”は、研究支援係にどう引き継がれるのか？

また、子ども育成課の教育部への移管は、いつ頃を目安に考えているか？

# 町の情報ツールの強化について

機構改革に合わせた「ポータルサイト」の検討について

機構改革を町民目線で考える

**組織は別でも、入口は一つにできる**

行政の縦割りを、町民にそのまま見せない仕組みへ



現在の壁

福祉部局



- 妊娠・出産
- 保育
- 子育て支援
- 家庭相談

どこに相談  
すればいい?



教育委員会



- 学校
- 教育相談
- 不登校
- 学習
- 教育研究所

どのページを  
見ればいい?

令和9年4月の機構改革

学校教育課



教育総務課



教育研究所



**より横断的でまとまりのある体制へ**



教育委員会の体制強化は前向きに評価

**→ 組織を一つにできなくても、町民から見える入口は一つにできる**

今回の視点



機構改革

+



情報改革

=



町民に分かりやすい行政

内部の再編だけでなく、“町民との接点”も同時に見直してはどうか。



# 町の情報ツールの強化について

機構改革に合わせた「ポータルサイト」の検討について

## 提 案

## 「葉山こども・教育ポータル」をつくる

0歳から18歳まで。「部署」からではなく、「子ども」から探せるサイトへ。



### 探し方 1 子どもの成長から



妊娠・出産 >



0～2歳 >



3～5歳 >



小学生 >



中学生 >



高校生・若者 >



### 探し方 2 困りごとから



子育て相談 >



発達 >



保育・幼稚園 >



学校生活 >



不登校 >



いじめ >



学習 >



居場所 >



経済的支援 >



医療・健康 >

### 探し方 3 今したいことから



相談する >



申請したい >



イベントを探したい >



居場所を探したい >

### ポータルの役割



ポータルサイト  
(葉山こども・教育ポータル)



公式LINE等  
(お知らせ・プッシュ配信)



相談窓口・申請・施設  
(担当部署・施設へつなぐ)



知る → 相談する → 支援につながる を一本につなぐ



「制度を探すサイト」ではなく、「困った時に次の行動が分かるサイト」へ

# 町の情報ツールの強化について

## 機構改革に合わせた「ポータルサイト」の検討について

### 先進事例と葉山への提案

## まず小さく始め、育てていく

近隣・先進事例を参考に、葉山でも“子ども・教育ポータル”を検討してはどうか

#### 鎌倉市



#### こどもまんなかポータル「きらここ」

- 2026年4月開設
- 年齢・困りごとから探せる
- 情報を一元化

#### 逗子市



#### 子育てポータルサイト「えがお」

- 年齢から探す
- 相談・不登校支援も掲載

#### 藤沢市



#### サイト+アプリ+情報配信

- Web・アプリ・配信を連携
- 必要な人に届ける工夫

### 葉山への現実的な進め方

#### 1 情報を整理する



- 子育て・教育
- 相談支援
- イベント など

#### 2 入口を一つにする



- わかりやすく
- 探しやすく
- スマートフォン対応

#### 3 相談機能を強化する



- オンライン相談
- 窓口・相談につなぐ
- 相談しやすい工夫

#### 4 公式LINE等と連携する



- お知らせ配信
- イベント情報
- 必要な人に届く

#### 5 利用状況を見ながら改善する



- アクセス解析
- 利用者の声
- 継続的に改善

### 今回の質問

Q1

機構改革を契機に、子育て・教育情報の“入口”を一つにする考えはあるか。



Q2

0歳から18歳までの情報・相談機能を集約した「子ども・教育ポータルサイト」を検討してはどうか。



Q3

サイトを作るだけでなく、「情報が届く」「相談につながる」仕組みへ発展させてはどうか。



機構改革を、行政内部だけの改革で終わらず、町民から見える景色も変える改革に。